

# 若松一高「歴史ウォークラリー」

6月1日、本校で「若松一高歴史ウォークラリー」が行われました。滝沢峠から旧白河街道を通り、赤井谷地までの往復コースです。会津歴史研究会会長：井上昌威先生の監修の元、会津の歴史と関係の深い様々な場所を訪ねることができました。

特に、白虎隊露營の地である菰槌山（こもつちやま）や、白虎隊と政府軍が激しく戦闘をした新四郎堀では、必死に会津を守ろうとした先人の郷土愛と苦勞とに思いをさせ、身が引き締まる感じがしました。

来年度大河ドラマ「八重の桜」の主人公 山本八重とゆかりのある本校では、先日の歴史講演会やこのような行事を通じて、生徒のみなさんに会津人としての誇りと教養を身につけてほしいと考えています。

また今回のウォークラリーでは、沿道の清掃もあわせて行いました。地域への貢献を通じてさらに会津を好きになってほしいと思います。



## 【舟石】

イザナギノミコト・イザナミノミコトが会津に天降

らせ給うた際、投じられた鏃が化して八角の水晶となった。そこで伊舎須弥神社として崇め、宮を号して八角と云う、と伝い伝えられています。その宮というのは会津若松市内にある八角神社のことで古くは伊舎須弥神社と呼ばれておりました。また、神が天降る際に乗り来たった船が化して石となったのが、この舟石であるといい、昔から名所でありました。

戊辰戦争で西軍が滝沢峠を突破して攻めてきたとき、この舟石の上で切腹して果てた会津藩士がいたそうです・・・。



## 【金堀の瀧】

素晴らしく綺麗な水。しかもこの瀧、かなり大きいです。ずっと見上げるとかなり上のほうから水が落ちて来ているのが分かります。



## 【御製】

「雨はれし 水苔原にかればたる ほろむいちごを 見たるよろこび」  
昭和36年初秋御来県になった天皇皇后両陛下は、特にこの地において高湿原植物とその生態についてご観察になった。その日、両陛下は、にわか雨にお濡れになりながらも、枯れ残るホロムイチゴやホロムイソウをお探しになった。

この折のことを昭和37年元旦に御歌として美しくお詠み下さったことは、感激に堪えない。

ここに会津生物同好会諸氏の発起により建碑して、御来県を記念すると共に、永く赤井谷地を賛えるものである。

